

医療をリードし、社会に貢献する
「アカデミックドクター」を養成します



2024

東京医科歯科大学病院

医師臨床 研修ガイド



東京医科歯科大学病院
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY HOSPITAL

研修基本理念

患者の痛みを理解できる国際水準の医療人の養成

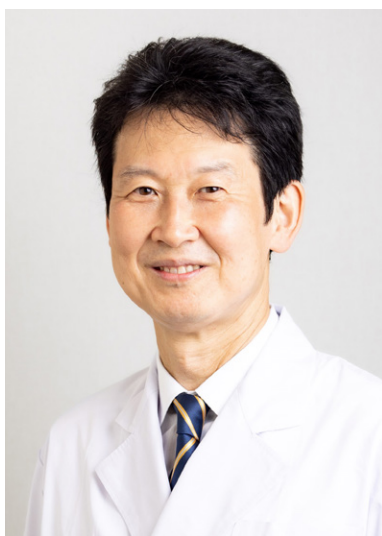
研修目標

高度医療人に求められる幅広い臨床能力の基礎を固める

研修目的

将来日本の医療をリードし、社会に貢献する医師となるために、本プログラムは「社会の医療を構成する一次、二次、三次医療に求められる基本的臨床能力を身につける」ことを目標とします。教育手法に精通した熱意のある指導医、豊富な症例、整備された研修環境の下で、医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切かつ全人的に対応できる幅広い基本的な臨床能力(態度・技能・知識)を習得すると同時に、本学の教育目標である「アカデミックドクターの養成」を目指します。





東京医科歯科大学病院
藤井 靖久 病院長

充実した研修環境のなかで、多くの仲間とともに、 臨床と研究の二刀流で社会貢献する 「アカデミックドクター」を目指しましょう

医学生の皆さん、このパンフレットに目を通していただきありがとうございます。臨床研修は、医師としての第一歩を踏み出す大切な場ですから、ご自身の医師としての将来を考え、どのような臨床研修プログラムを選択すべきか迷われている方は少なくないように思います。

私たちのプログラムの特徴は、第一に「たすきがけ研修」を長く採用していることで、大学病院のプログラム、市中病院のプログラム、それぞれの強みを統合したものになっています。大学病院では、多数の指導医のもと、臨床医としてのしっかりとした物の考え方や勉強の仕方を学ぶとともに、より専門性の高い分野についても知識や技術を深めることができます。協力病院では、多くのcommon diseaseを診療しながら最前線に立つ医師としての基本を学べるようになっています。

当院のプログラムは、定員が多い＝仲間が多いことも特徴です。互いに切磋琢磨し励ましあって成長でき、その中で医師として一生の友人を得られることになるでしょう。

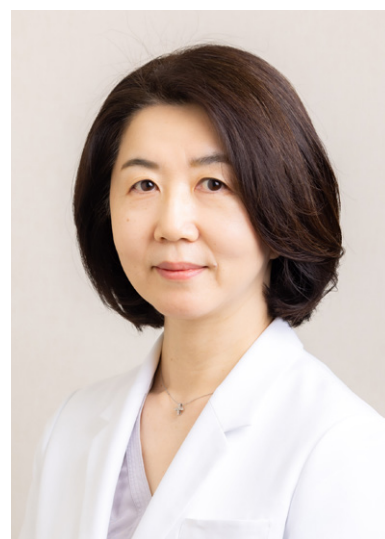
皆さんには、臨床と研究の二刀流で社会貢献する「アカデミックドクター」を目指していただけたらと期待しています。現在は多様性の時代ですので、さまざまな価値観をもつ方に応募いただけたらと思います。当院のプログラムの充実した研修環境は、毎年研修医の皆さんに評価され、高いマッチ率を維持していることに表れています。皆さんの参加を心からお待ちしています。

教育体制・設備の向上を常に目指し、 社会で求められる医師への成長をサポートします

私たちは臨床研修において、高度な医療を提供する大学病院の教育マインドを持つ多くの指導医たちのもと、丁寧に深く診る診療姿勢を通して思考力と応用力を鍛えることと、また日本の医療を構成する一次から三次までの医療機関で多様な経験をすることが、基本的臨床能力の獲得と、将来の大きな成長のためにはとても重要である、と一貫して考えてきました。

現代は、新しい感染症の拡大やAI、IoT、データヘルスの急速な技術革新によって高度に変化する医療環境において、医師として患者さんに寄り添いながら、社会に対して何が貢献できるか自ら考え、柔軟に対応し、行動する力が必要です。また今までの価値観とは異なる多様性も求められています。これらの点は、私たちの多彩な経験ができる研修プログラム内容と、最新のレクチャーやトレーニング、また多くの熱意のある指導医や研修医の仲間との切磋琢磨できる環境において、十分に力をつけることが可能です。

さらに研修センターでは常に研修医や指導医の意見を反映し、研修医自身の安全を守ることを第一に考えながら、研修プログラムの改善と運営を行っています。日本の中心である東京での研修は、厳しさと穏やかさの両面を持ちますが、私たちは最後までしっかりと皆さんの研修をサポートしていきます。医師への大事な第一歩を、本学の臨床研修プログラムで始めませんか。ぜひお待ちしております。



総合教育研修センター
岡田 英理子 センター長

■ プログラムⅠ

定員 36名

1年目	大学病院			
	内科	救急	外科	麻酔科/ 自由選択科
	24週	8週	8週	8週

2年目	協力病院、大学病院					
	救急	産婦	精神	小児	地域	自由選択科
	4週	4週	4週	4週	4週	28週
	一般外来					

●外科重点コース(定員3名)では、2年目に外科重点協力病院にて24週間の外科研修が可能

外科重点コース 《外科を専攻する研修医のためのコース》

定員 3名

1年目	大学病院			
	内科	救急	外科	麻酔科/ 自由選択科
	24週	8週	8週	8週
	一般外来			

2年目	外科重点協力病院(※)						
	救急	産婦	精神	小児	地域	外科	自由 選択科
	4週	4週	4週	4週	4週	24週	4週
	一般外来						

(※)1年目プログラム開始時に2年目協力病院を決定する

●協力病院:土浦協同病院、豊島病院、草加市立病院

■ プログラムⅡ

定員 54名

1年目	協力病院			
	内科	救急	外科	1麻酔科/ 自由選択科
	24週	8週	8週	8週
	一般外来			

2年目	大学病院					
	救急	産婦	精神	小児	地域	自由選択科
	4週	4週	4週	4週	4週	28週
	一般外来					

■ 基礎研究医プログラム

定員 2名

1年目	大学病院			
	救急	外科	麻酔科/ 自由選択科	内科
	8週	8週	8週	24週
	大学院			

2年目	大学病院						基礎研究期間
	救急/ 麻酔科	小児	産婦	精神	地域	自由 選択科	
	4週	4週	4週	4週	4週	4週-8週	16週-24週
	大学院						

●臨床研修の到達目標の達成度を評価し、達成していれば基礎研究ローテーションを実施する

●臨床診療科ローテーション機関の時間外等においては、ローテーションを行う臨床診療科の許可があった場合、東京医科歯科大学大学院基礎系研究室にて基礎研究に従事する

●募集・採用の流れは、ほかのプログラムと異なり、対象者の応募資格により1次募集と2次募集に切り分けて実施

詳細はHPをご確認ください



■ 周産期（小児・産婦人科）プログラム

定員 4 名

1年目	大学病院、周産期重点協力病院			
	内科	救急	外科/ 小児・NICU/ 産婦	小児/産婦 関連診療科
	一般外来 24週	8週	8週	一般外来 8週

2年目	大学病院、周産期重点協力病院（短期）				
	救急	精神	小児/ 産婦	地域	小児/産婦 関連診療科 (1年次に外科8週未修了の場合は必修)
	4週	4週	4週	4週	一般外来 32週

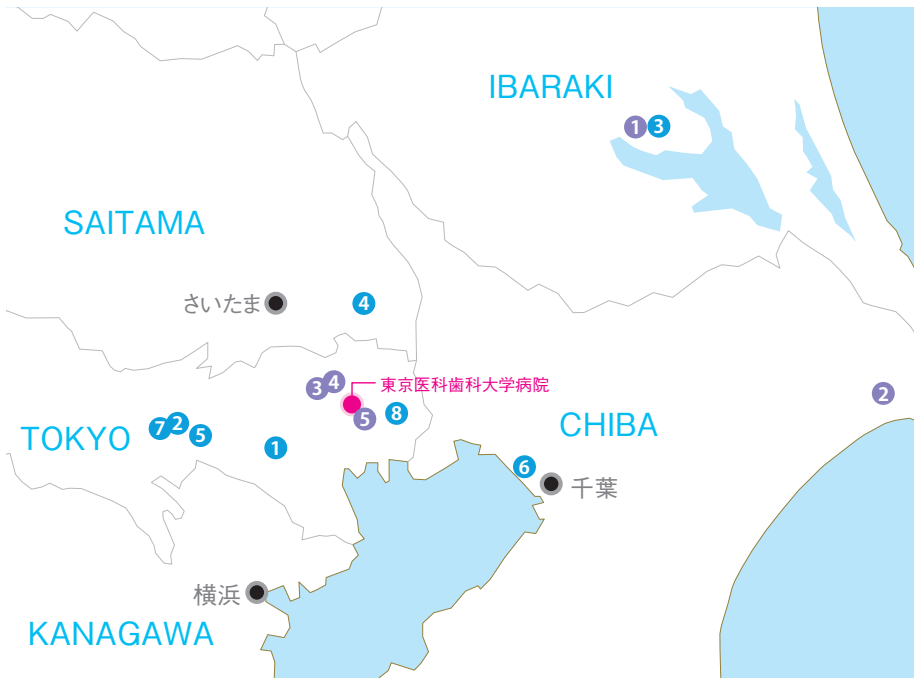
産婦人科重点

産婦	関連診療科
16週（～24週）	8週（～16週）

小児科重点

血液	循環器	内分泌	神経	腎/ 膠原病	新生児 NICU	関連 診療科
4週	4週	4週	4週	4週	4週	8週

- ステップアップ研修として、2年目に周産期重点協力病院をローテート可能
- ステップアップ研修には臨床研修制度上の要件があるので、興味のある方はお問い合わせください



周産期重点協力病院

・小児重点

- ① 国立成育医療研究センター
- ② 都立小児総合医療センター
- ③ 土浦協同病院
- ④ 川口市立医療センター
- ⑤ 榊原記念病院
- ⑥ 千葉市立海浜病院
- ⑦ 都立神経病院
- ⑧ あおぞら診療所うえの

・産婦人科重点

- ① 土浦協同病院
- ② 国保旭中央病院
- ③ 都立大塚病院
- ④ 都立駒込病院
- ⑤ 木場公園クリニック



研修プログラム責任者メッセージ

プログラムI

プログラムIでは1年目は大学病院で、2年目は協力病院で研修します。大学では屋根瓦式の指導体制のもと「きちんと診る」トレーニングを行い、診療に対する医師としての大事な土台を形成します。2年目の協力病院はいずれも地域の第一線の基幹病院であり、多くのCommonな症例や患者さんを担当することができます。専門研修への移行も常にプログラム内で情報発信されていますので2年目も心配ありません。また、大学での2年間連続研修を選択すると、研究や多様なキャリアの経験を積むこともできます。大学医局の多くの上級医には、ロールモデルとなる医師もいるでしょう。さらに、様々な出身大学の同僚との出会いは、皆さんのこれからの医師人生を豊かにするでしょう。1年目に大学病院で医師としての土台形成を考えている方にお勧めのプログラムです。



赤石 雄先生

プログラムII

プログラムIIでは1年目を協力病院で、内科・外科・救急を中心にcommon diseaseを存分に研修します。2年目は大学病院で、高度先進医療を担う医療機関ならではの専門診療や自由選択研修を通じて、将来を見据えた質の高い研修を行うことができます。地域医療研修では、プライマリ・ケア領域専門医の指導のもとで、外来や在宅診療研修を行うことができます。医療過疎地域の地域医療を経験したい方は、秋田大学・島根大学との連携病院での研修も選択できますし、社会医学に関心があれば、国立保健医療科学院の研修も選択できます。大学病院では、臨床実習学生や1年目研修医に教えることで自ら学びを深めることができ、学会発表の機会も豊富で、ロールモデルとなる多くの指導医に出会うことができます。専門研修へのスムーズな移行を考えている方にお勧めのプログラムです。



鹿島田 彩子先生

基礎研究医プログラム

基礎研究医プログラムは、将来基礎医学系の研究者を志す方を対象に、臨床研修の修了要件を満たせば、2年目の後半16週～24週までを基礎研究期間とすることが可能なプログラムです。臨床医としての経験は、基礎研究の中に新しい視点を取り入れることも可能であり、また研究を続けていく上でも、臨床研修の経験は皆さんの助けとなるでしょう。本学では大学病院で熱心な指導医のもと、基本的診療能力を身につけることが可能です。また今後は東京工業大学との合併も予定され、両大学の強みを活かした「コンバージェンス・サイエンス」を展開するハイレベルな研究環境で、最先端の基礎研究に従事することも可能です。この新しい機会に、基礎研究者を目指す方は、ぜひ基礎研究医プログラムもご検討ください。



岡田 英里子先生

周産期プログラム

■小児科重点コース
様々な専門領域がある小児科領域において、幅広く診療する一般診療能力と、専門分野で高度医療を展開できる力を養います。ステップアップ研修や小児外科研修も選択できます。指導・研修体制には定評があります。



森尾 友宏先生

■産婦人科重点コース
生殖内分泌、周産期、女性ヘルスケア、婦人科腫瘍など、女性の生涯に関わる幅広い分野のプライマリケアと、各専門領域の高度な研修ができる、魅力あるプログラムを用意しております。



宮坂 尚幸先生

出身大学内訳

全国様々な大学出身者が集うオープンな雰囲気です。

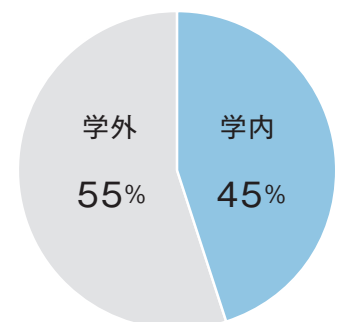
■研修医出身大学(2023採用者)

【プロI】

本学、山形大学、東北大学、富山大学、筑波大学、信州大学、名古屋大学、滋賀医科大学、岡山大学、佐賀大学、長崎大学、大分大学、東京女子医科大学、順天堂大学、日本大学、東海大学、東京医科大学、大阪医科薬科大学、久留米大学

【プロII・周産期】

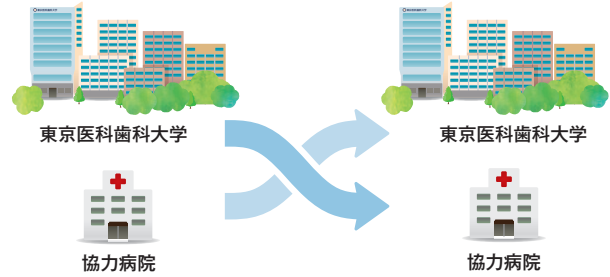
本学、北海道大学、旭川医科大学、東北大学、山梨大学、信州大学、筑波大学、群馬大学、富山大学、千葉大学、浜松医科大学、大分大学、熊本大学、東北医科薬科大学、東京女子医科大学、東海大学、東邦大学、昭和大学、埼玉医科大学、兵庫医科大学



たすきがけ研修

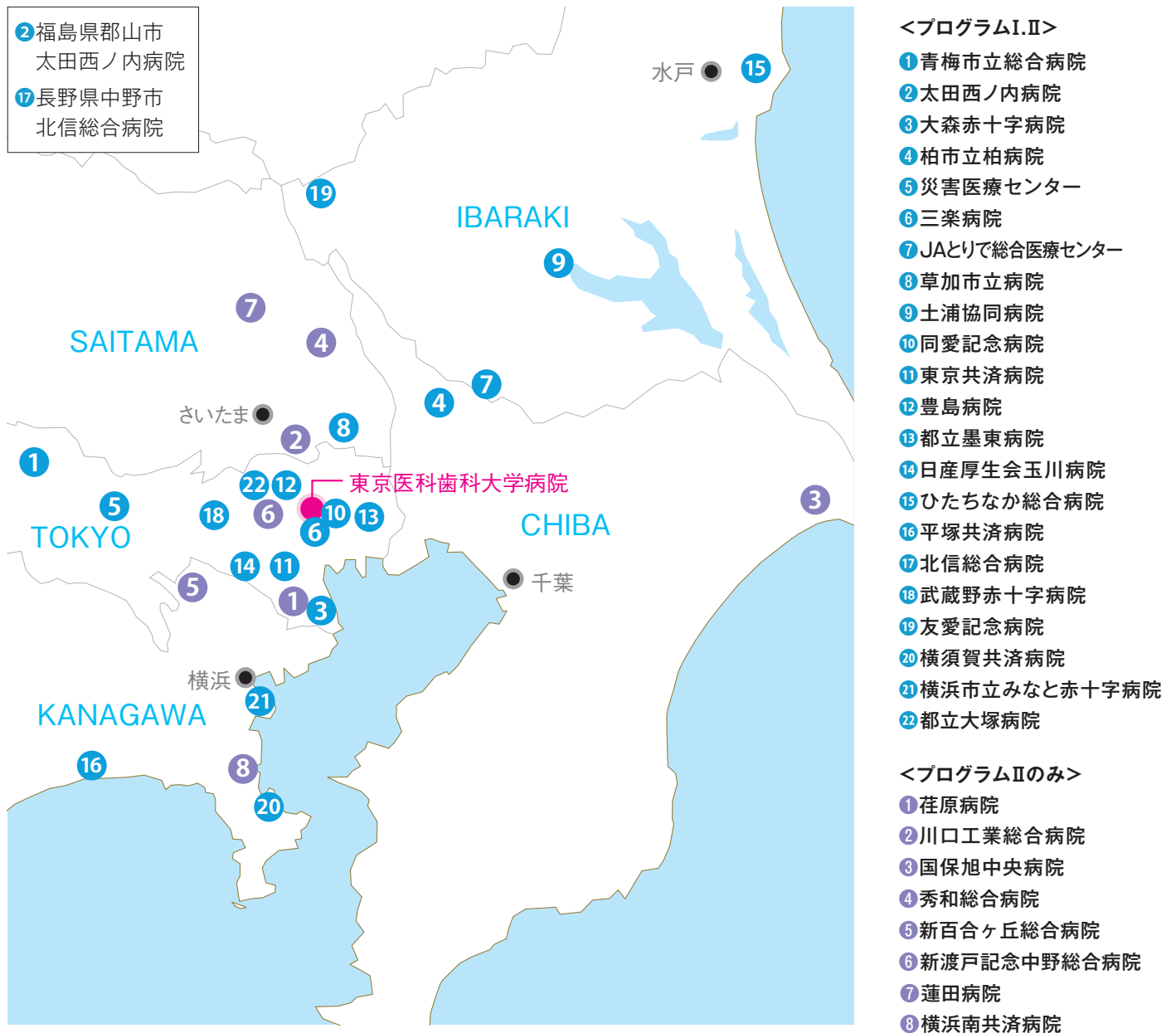
大学病院と協力病院を1年ずつ研修するプログラムを用意しています。協力病院でcommon diseaseや救急疾患を経験し、大学病院では専門診療や先進医療を経験し、研究マインドを醸成することができます。

協力病院は本学との連携も密接で、研修医のフォローアップ体制も万全です。



プログラム協力病院

たすきがけ協力病院はいずれも地域の第一線の中核病院で、臨床研修の人気病院がそろっています。



大学病院ならではの幅広い診療科選択

がん診療

がんゲノム診療科では、患者に対するゲノム解析の適応の判断や患者さんに最適な薬物療法の選択・遂行などを含む臓器横断的な腫瘍内科学を学ぶことができます。2022年4月には臨床腫瘍科が発足し、薬物療法と免疫療法を最新のエビデンスに基づき積極的に行っています。緩和ケア科では、適切な問診・診察を通して、求められる緩和治療やケアについて学ぶことができます。

大学だからできる
高度な先進医療！

難病診療

膠原病リウマチ、炎症性腸疾患、神経難病、稀少難病などの難病の診療に積極的に取り組む難病診療部の指導医とともに、先端的な診療が経験できます。

医科歯科ならではの！

低侵襲医療

泌尿器科、胃外科、大腸肛門外科では、エキスパートによる最新の手術支援ロボット(da Vinci)によるロボット支援下手術を間近で経験できます。

最新のロボット支援
下手術を経験！

感染症診療

感染症内科での研修では、感染症の的確な診断・治療に加え、感染症対策に関する実践的知識を身につけることができます。

2021年10月新設！
研修医から人気！

救急医療研修

都内屈指の受け入れ体制を持つ救命救急センターでは、内科救急から多発外傷手術も含めた質の高い救急医療を経験できます。当院所有のドクターカーは、多い時で1日6-7件の要請があり、病院前診療向上に取り組んでいます。

全国救命救急センター評価
(令和4年度) S評価獲得！

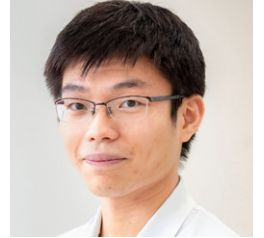
研修可能診療科・研修関連部門

■ 内科系診療領域	血液内科、膠原病・リウマチ内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、腎臓内科、総合診療科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、臨床腫瘍科、緩和ケア科、がんゲノム診療科、遺伝子診療科、感染症内科
■ 外科系診療領域	食道外科、胃外科、大腸・肛門外科、乳腺外科、小児外科、末梢血管外科、肝胆膵外科、心臓血管外科、呼吸器外科、泌尿器科、頭頸部外科、救急科、病理診断科
■ 感覚・皮膚・運動機能診療領域	眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成・美容外科／再建形成外科、整形外科、リハビリテーション科
■ 小児・周産・女性診療領域	小児科、新生児集中治療室(NICU)、周産・女性診療科
■ 脳・神経・精神診療領域	脳神経外科、脳神経内科、血管内治療科、精神科、心身医療科、麻酔・蘇生・ペインクリニック科
■ 放射線診療領域	放射線治療科、放射線診断科
■ 特殊診療領域	光学医療診療部、周産期母子医療センター、高気圧治療部
■ 基盤診療部門・診療管理部門等	検査部、手術部、放射線部、リハビリテーション部、集中治療部、病理部、救命救急センター、血液浄化療法部、不整脈センター、快眠センター、スポーツ医学診療センター、腎・膀胱・前立腺がんセンター、みみ・はな・くちのどがんセンター、プレストセンター、低侵襲医療センター、輸血・細胞治療センター、コロナ外来診療センター、メンタルヘルス・リエゾンセンター、認知症ケアチーム、脳卒中センター、てんかんセンター、アレルギー疾患先端治療センター、先端近視センター、総合教育研修センター、医療連携支援センター、国際医療部

プログラムI

大学病院ではエビデンスや多くのスタッフとの議論を重視して治療方針を決定するため、一人一人の患者にじっくりと向かい合うことが求められます。私はそのような経験を1年目に積んでおくことで、患者数は多いのに医師数が少なく、どうしても「患者を捌く」ことに追われがちな市中病院でも、初心を忘れずに2年目の研修を行うことができました。また、将来の入局先候補の雰囲気や働き方を1年目のうちに体験し、早いうちから最終的な進路決定の参考にすることができたのも良かったと感じます。

大学病院の自由選択期間が短いため、例えば複数のマイナー科を回って悩みたいという方はプログラムIIの方が向いているかもしれません。逆にある程度志望科が固まっているなら、1年目のうちにほぼ進路を固めたうえで、2年目の市中病院で目的意識を持ちながらcommon diseaseを経験できるため、プログラムIは非常に魅力的だと感じます。



岡 慎平先生
(2021年度採用)

1年目 大学											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
麻酔		呼外		ER		呼内		膠原病・リウマチ		消内	
2年目 青梅市立総合病院											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
リウマチ 膠原病	ER	産婦	精神	内分泌 糖尿病	小児	血内	地域 医療	腎内	神内	循内	リウマチ 膠原病

1日密着 REPORT

研修医1年目のある1日の研修スケジュール

肝胆膵外科研修

[2021年度採用 プログラムI]

近藤 和樹先生



7:50 全体回診



毎週火曜日の朝は、病棟の全体回診。研修医が教授に担当患者の病状の説明をします

8:15 処置



指導医と術後のドレーン管理などの処置を行います

8:45 業務確認、カルテ記載

13:00 昼食



同期とランチ

14:00 手術(腹腔鏡下胆嚢摘出術)



指導医の監督下で慎重に腹腔鏡を操作します

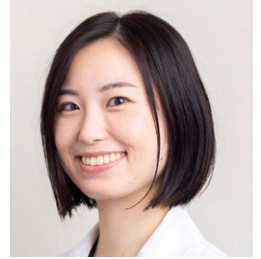
16:30 全体カンファレンス

17:30 チームカンファレンス

18:30 業務終了

プログラムⅡ

当院プログラムの最大の特徴は「たすきがけ」と考えます。市中病院の選択肢は数が多く、いずれも質の高い研修を提供する病院で、臨床医学の基礎を固めるのに最適です。特に、プログラムⅡは1年目に市中病院でcommon diseaseを中心に幅広い症例を経験し基本的な知識や処置を身に付けた上で、2年目に専門的な知識が必要となる大学病院を経験するというステップアップの方式であり、着実に診療能力を伸ばせる他、各診療科の専門性の奥深さを知ることができキャリア形成を考える上で参考になりました。また、研修病院として定評のある当院であるため全国から志の高い研修医が集まり、モチベーションを高く維持でき、今後も切磋琢磨し一緒に成長していきたい友人・先輩後輩を得られます。土日祝は基本的に休みで有給休暇や夏季休暇も勿論取得でき、仕事とプライベートのメリハリをつけどちらも充実させながら継続的に研鑽を積むことができました。



内田 麗花先生
(2021年度採用)

1年目 横浜南共済病院											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
呼/血/神内	消/膠内			循/腎/内分泌		救急			小児	外科	

2年目 大学											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小児	ER	膠原病・リウマチ		地域	皮膚	精神	感染症	集中治療		緩和	産婦

1日密着
REPORT

腸管グループで研修中のある1日の研修スケジュール

消化器内科研修

[2022年度採用プログラムII]

森本 紗生先生



7:50 カンファ準備・カルテ確認

8:00 全体カンファレンス

9:00 回診

担当患者さんの病態プレゼン、質疑応答もしっかり行います

9:30 病棟業務

11:30 昼食

同期とのランチで元気をチャージ

14:00 小腸内視鏡検査

15:00 病棟業務、手技見学

17:30 回診

18:00 病棟業務 カルテ入力

18:30 業務終了

検査の介助をしながら内視鏡所見の解釈を学びます

患者さんの治療方針などをチームの上級医と相談

周産期(小児・産婦人科)プログラム

私は学生の頃から小児科医になりたいと決めており、より早期から小児医療に触れる時間を多く持ちたいと考え、小児重点プログラムを志望しました。本学の小児科では各専門グループを全て研修することができますし、ステップアップ研修を利用して自分の希望することも病院などでの研修も行えます。専門性の高い疾患に触れることはとても刺激になりますし、わからないことがあれば上級医の先生方が熱心にご指導くださいます。何でも相談できる先輩や同期、後輩がたくさんいますので、とても心強い環境だと思います。特に小児科や産婦人科に進むことを既に決めている方には、この周産期プログラムも視野に入れて頂き、ぜひ一度見学にいらしてください。



大鹿 美咲先生
(2021年度採用)

1年目 土浦協同病院											大学	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
消内			小児外			循内		救急		呼内	小児	精神

2年目 大学											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小児					ER	産婦		地域	小児	成育医療センター	

2-3月国立成育医療研究センターはステップアップ研修

基礎研究医プログラム

基礎研究医プログラムは、研究だけでなくあらゆる進路を考える人におすすめしたいプログラムです。卒後間もない2年間に臨床と研究の両方に携わることで広い視野を持ってより一層成長できると思うからです。また、基礎研究医プログラムでは卒後4年目までにPhD取得を掲げ、進路の制限を設けていないため、今後の選択肢の幅を広げるためにも最適な選択であったと改めて感じます。この1年間は研修のスキマ時間を使って研究データの解析や論文執筆、研究室メンバーとのミーティングを中心に行なってきました。2年目の選択期間から本格的に研究生活が始まるので、講義聴講や研究をさらに進める期間に充てる予定です。また、大学院在学中の国外留学も検討しています。臨床と研究の二足の草鞋を履ける、こんなにお得なプログラムはない!と思います。ご興味のある方はぜひ研修センターや先輩研修医にリーチアウトしてください!



片桐 碧海先生
(2022年度採用)

1年目 大学											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
麻酔		ER			肝胆脾外		循内		神内		血内

2年目 大学											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域		産婦	麻酔	小児	精神	保健医療行政		基礎研究			

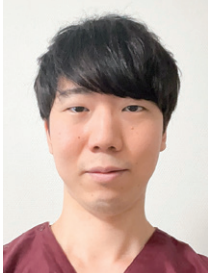
8月小児科は草加市立草加病院、10-11月保健医療行政は国立保健医療科学院

秋田・島根地域研修

期間 8 週

対象 プログラムI(2年間大学コース)、プログラムII、周産期プログラム、基礎研究医プログラム**概要** 研修プログラムの2年次に、秋田大学・島根大学との連携協力の元で、公立邑智病院(島根県邑智郡)、市立大森病院(秋田県横手市)で臨床研修を行う

研修医 VOICE

石橋 佑脩先生
(2021年度採用プロII)

公立邑智病院では志望している診療科に関わらず、基本的な臨床能力を養うことができます。研修医は主に初診外来、救急外来、病棟管理を担当します。初診外来では問診、検査、アセスメント、プランを上級医指導のもと行います。来院される患者の症候は急性期から慢性期にかけて比較的commonなものから、マダニ咬傷など稀なものへの初期対応も学習できます。外来で診察した入院症例は退院まで担当するので、退院支援や家族への病状説明も研修医が行います。外科志望であれば助手として手術に参加することもできますし、周産期志望であれば出産や乳児健診に参加することもできます。大学とは異なる環境でchallengingに楽しみたい方はぜひ研修されてみてください。



公衆衛生研修

期間 8 週

学内・学外選考あり

対象 プログラムI(2年間大学コース)、プログラムII、周産期プログラム、基礎研究医プログラム**概要** 研修プログラムの2年次に、世界保健機関(WHO)本部(スイス)、WHO西太平洋地域事務局(フィリピン)、厚生労働省、国立感染症研究所での実地研修を行う。

厚生労働省や保健所など、病院以外で医師が活躍している場所に興味があり、公衆衛生研修に参加しました。国立保健医療科学院という専門の施設で、コロナ対策から医師の働き方改革まで様々な問題について講義と実地を交え学ぶことが出来ます。また、厚生労働省やWHO支部(フィリピン)などの実地研修があり、自分自身の視野を大きく広げてくれました。研修には全国の様々な病院から研修医が集まるため、その中での交流も大きな経験の一つです。初期研修中の貴重な2か月間をどう使うか、ということはとても重要なことですが、その価値がある研修だと思います。公衆衛生への興味に限らず、どのような人でもおすすめできる選択研修です。

研修医 VOICE

柳井 健作先生
(2021年度採用プロII)

プロジェクトクォータ

期間 8 週

学内選考あり

行政・起業・研究・データサイエンス等の多様なキャリアを目指す研修医に、自由研修期間等を提供する

対象 プログラムI(2年間大学コース)**概要** 1年次にプロジェクトを立案し、2年次の自由研修期間等を利用して、プロジェクトに従事する(プロジェクトの選定や実施先との調整は、希望者自らで行う必要あり)

Academic physician 育成コース

期間 2 年間

MPHコース受験が必要

グローバルヘルスリーダーを養成する

対象 プログラムI(2年間大学コース)、周産期 **現在、募集していません****概要** 臨床研修と並行して、研修時間外を利用して、東京医科歯科大学大学院 Master of Public Health in Global Health (MPH) courseを履修してグローバル健康医学修士(MPH)の取得を目指す

屋根瓦方式

医師が医師を育てるというマインドを大切に、学生・研修医・上級医・指導医がチームを組んで診療を行います。

イブニングセミナー

毎週夕方勉強会を開催しています。

学内外の一流講師陣による最先端かつ実践的な贅沢な内容で、日々の研修に役立ちます。



■ 2022 年度年間スケジュール

4月 8日	初期研修重要情報
4月 15日	感染症診療を始める前に ～血液培養と針刺し防止対策～
4月 22日	生体情報モニター
5月 6日	酸素療法について
5月 13日	輸液ポンプ実習①
5月 20日	輸液ポンプ実習②
5月 27日	胸部レントゲン読影
6月 3日	心電図読影
6月 24日	人工呼吸器ビギナーズ
7月 8日	人工呼吸器（発展編）
7月 22日	除細動器研修
7月 29日	栄養管理と栄養サポートチーム（NST）
8月 26日	災害医療について
9月 2日	依存症 ギャンブル障害について
9月 9日	医療安全の考え方
9月 30日	医療として必要なコミュニケーション ～ACPについて理解する～
10月 7日	医療連携と社会支援

11月 4日	臨床遺伝について
11月 11日	臨床経験のある基礎研究者による臨床に直結する研究の考え方「多因子疾患のゲノム精密医療～ポリジェニックリスクスコアの可能性～」
11月 18日	口腔の診かた・口腔ケアの考え方
12月 16日	せん妄の薬物療法
12月 23日	多職種協働を前提に医療ケアに取り組む ～地域医療研修の準備や復習として～
1月 13日	腹部エコーハンズオン
1月 20日	腹部エコーハンズオン
2月 10日	フローチャート漢方薬 ～西洋薬と同じように処方しよう～
2月 17日	腹部エコーハンズオン



その他、診療科別に講師陣が作成した教育教材を研修医向けにオンデマンド配信しています。大学ならではの充実したコンテンツとなっており、効率的に勉強できます。

講習会

各種講習会を開催しています。

- BLS、ICLS
- JMECC 講習会
- 緩和ケア講習会
- CVC 講習会



学会、研究会発表

学会・研究会での発表の機会が多数あります。

各診療科で指導医の指導のもと発表を行い、過去3年で下記10名が優秀演題として表彰されました。

山中 詩織先生	「SARS-CoV-2肺炎集中治療後抜管8日目に突然発症した両側気胸の1例」 (呼吸器内科) 2020年9月12日 第178回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会 第241回日本呼吸器学会関東地方会 合同学会	奨励賞受賞
野原 理花先生	「COVID-19肺炎診療の運用を医療費から考える」 (救命救急センター) 2020年11月20日 第48回日本救急医学会 総会・学術集会	優秀賞受賞
本間 遥先生	「右冠動脈起始異常に伴う入口部狭窄に対するunroofing法による冠動脈形成術の一治験例」 (心臓血管外科) 2020年11月28日 第184回日本胸部外科学会 関東甲信越地方会	奨励賞受賞
杉山 定先生	「関節リウマチに対しアダリムマブ投与中にアレルギー性気管支肺アスペルギルス症を発症した1例」 (呼吸器内科) 2021年9月25日 第180回 日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会 第246回日本呼吸器学会関東地方会 合同学会	医学生・ 初期研修医 セッション 優秀賞
朱 理絵先生	「粟粒結核治療中に結核性腹部動脈瘤の増大を認めた1例」 (呼吸器内科) 2021年10月9日 第672回日本内科学会関東地方会	奨励賞受賞
小柳 太一先生	「当科における食道癌・食道胃接合部癌に対するNivolumab投与症例の検討」 (消化器外科) 2021年11月6日 第187回日本胸部外科学会 関東甲信越地方会	優秀演題受賞
高橋 建叡先生	「急速増大する膵頭部腫瘍に対して膵頭十二指腸切除術施行し膵紡錘細胞型退形成癌の診断を得た1例」 (肝胆膵外科) 2021年11月20日 第83回日本臨床外科学会総会	研修医 Award受賞
田口 美奈先生	「超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)で診断した胃原発滑膜肉腫の一例」 (消化器内科) 2022年9月24日 日本消化器病学会 関東支部第371回例会	研修医奨励賞 第1位受賞
岡 瑛子先生	「上行置換術後の慢性期に、人工血管側枝に仮性瘤形成をきたし再手術を行った1治験例」 (心臓血管外科) 2022年11月5日 日本胸部外科学会関東甲信越地方会	優秀賞、発表 奨励賞受賞
高野 祐二先生	「腹腔鏡下切除術を行った非機能性バラガングリオーマの一例」 (肝胆膵外科) 2022年11月24日 第84回日本臨床外科学会総会	研修医 Award受賞

研修医室

2023年度リニューアル!

冷蔵庫、電子レンジ、仮眠スペース、Free WiFi、個人用ロッカー、メールボックスなどを完備。

PCでは海外ジャーナルへのアクセスもでき、自己研鑽に役立ちます。

研修医室からWebカンファレンスに参加している研修医も多いです。

仮眠スペースには、リクライニングソファーが設置されており、ゆっくり体の疲れをとることができます。



研修医カンファレンスルーム

大画面モニター、壁面全体ホワイトボードがあり、研修医ミーティング、地域医療研修の総括、イブニングセミナー等に利用しています。

その他、研修医同士の自主勉強会、会議等にも活用できます。

Free WiFiが使用でき、Webカンファレンスや勉強会に参加することもできます。



研修医宿舎

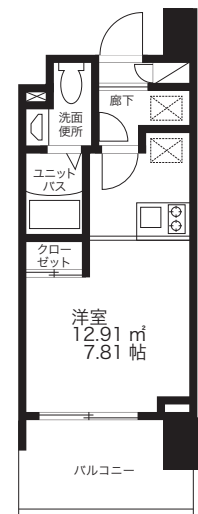
全4棟の借上宿舎があり、いずれも病院から徒歩10-15分です。

都心に位置しているため、スーパーマーケットやドラッグストアなど日常生活には困りません。

休日には観光やショッピングなどで心も体もリフレッシュできます。



宿舎外観



※間取り図例

スキルラボ

スキルラボは、中心静脈穿刺、超音波検査や腹腔鏡手術等のトレーニングができる大学病院ならではの充実した多数のシミュレーターを有しています。
24時間いつでも利用でき、手技の確認や上達のために活用できます。



気管挿管



中心静脈穿刺

機能強化棟 (C棟)

医歯学の病院機能をより効率化し、救急医療と高度先進医療を提供するために「機能強化棟」を新たに建設中です。
機能強化棟には最新設備を整えた手術室が導入される予定で、医師臨床研修の時期からより高度な医療を経験できます。
さらに、ICUも最新設備となるため、救急医療や集中治療についてもより充実した教育環境になることが期待されます。



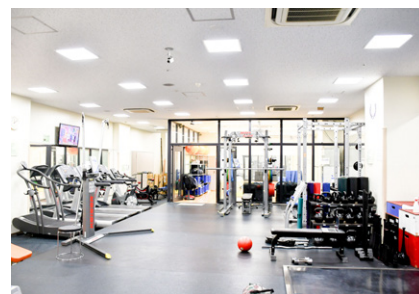
フィットネスルーム

M&Dタワー地下にあるトレーニングジムを利用できます。

利用時間：12:00-22:00 (平日のみ)

会費 年会費：12,000円 都度利用：500円

感染対策のため休館中ですが(2023年5月現在)、
利用再開の予定です



飲食施設

- 生協食堂
- グリルセインツ
- スターバックスコーヒー
- セブンイレブン (24時間営業)
- キッチンカー (病院敷地内に曜日毎に異なるキッチンカーが数台営業しています)



ホームカミングデー

協力病院と大学病院で研修中の研修医が大学に集まり、異なる病院で働く研修医同志の情報交換や交流の機会になっています。秋のホームカミングデーは内定者も招待し、協力病院の研修情報の説明会を行っています。



年2回の個別面談

各プログラムの責任者・副プログラム責任者と年2回個別面談の機会を設けています。臨床研修到達目標の確認や、その他研修で困っていることやキャリアプランについてなど個別に相談に応じており、研修生活のサポートを行っています。

研修医代表委員との定期意見交換会

研修医代表委員を設けており、研修医の要望を拾い上げられるよう、定期的に意見交換会を実施しています。研修医の声を尊重し、更なる研修環境の改善に取り組んでいます。実例として、研修医の意見をもとに2023年度に研修医室を綺麗にリフォームし、新しい冷蔵庫・電子レンジを追加し、浄水器も導入しました。研修医の先生方からも好評です。



最優秀研修医賞

医師としての基本的臨床能力を備え、社会への貢献を意識して行動し、他の研修医や学生の模範となる研修医を表彰しています。2年間の研修を指導医やコメディカル、研修医、医学生など、様々な視点から総合的に評価し、2022年度は以下の先生方が表彰されました！



(左から) 高野祐二先生(プロII)、高橋建毅先生(プロI)、河野里咲先生(プロI)、船山裕子先生(プロII)、内田嶺花先生(プロII)、吉田鈴先生(プロII)

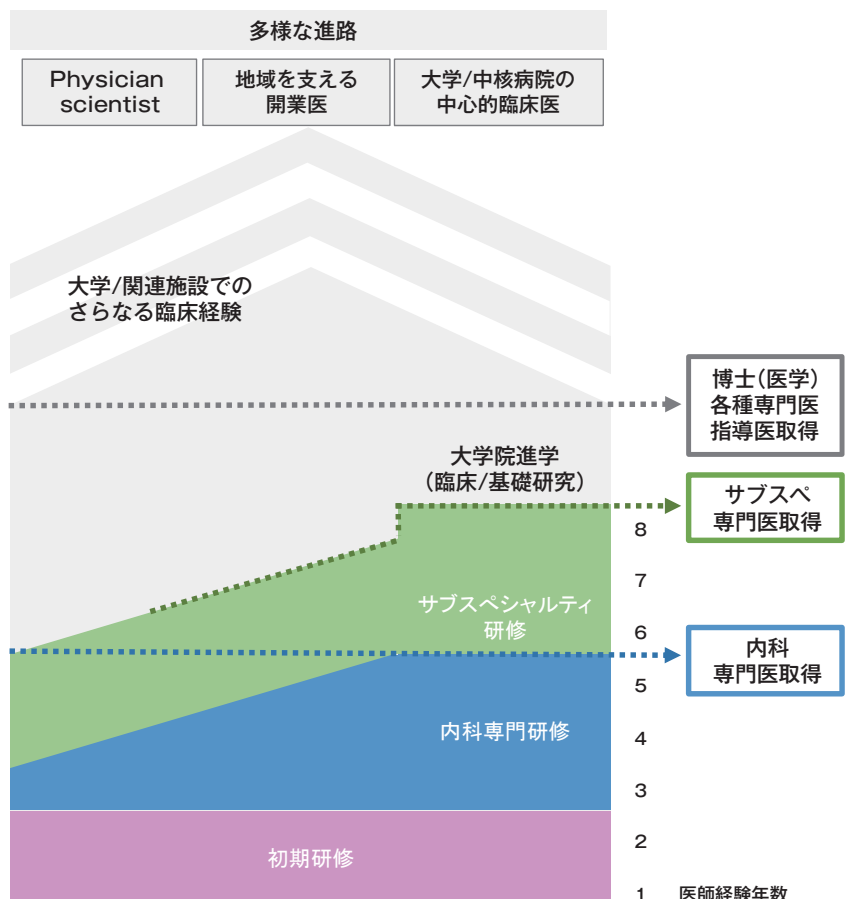
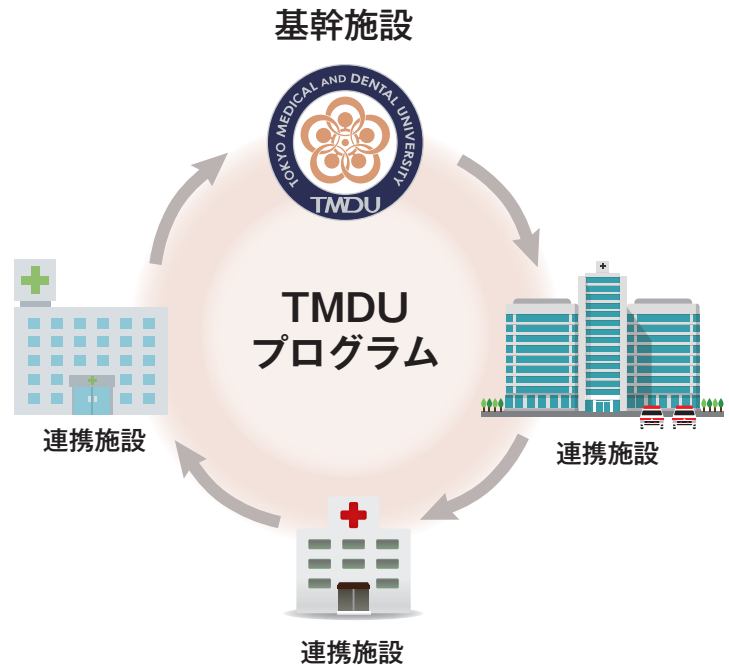
内科専門研修プログラムの場合

2018年から開始となった新専門医制度における内科専門医取得には、医師臨床研修後3年間の研修期間を通じて、日本内科学会が定める56疾患群以上かつ160症例以上の症例経験と指導医からの承認、JMECC（日本内科学会認定内科救急・ICLS講習会）受講、学会発表、その他の修了要件を満たした上で内科専門医試験を受験し合格する必要があります。

特に症例経験や病歴要約は計画的に行うことが重要となりますが、一定の基準を満たせば医師臨床研修中の症例も80症例まで登録可能であるため、東京医科歯科大学医師臨床研修プログラムを通じて大学病院・連携病院で日本内科学会指導医のもと内科全般の研修を着実に行うことで、医師3年目以降にサブスペシャリティにより重点を置いた専攻研修を行うことが可能となります。

また、修了要件のひとつであるJMECCは、東京医科歯科大学病院では定期的に開催しており、医師臨床研修中より受講が可能です。当院ならではの豊富な臨床経験を持つ熱心な指導医の適切な指導の下で、仲間と切磋琢磨し、充実した研修をより効率的に行うことができます。

また、専門医取得のその先を見据えたキャリアパスを選択することができることも当院の強みです。大学病院でサブスペシャリティを極める、大学院に進学して研究に没頭する、関連病院で臨床経験を積み地域を支えるなど、またその他の個人個人の理想の医師像を目指すための希望に可能な限り沿えるようサポートします。



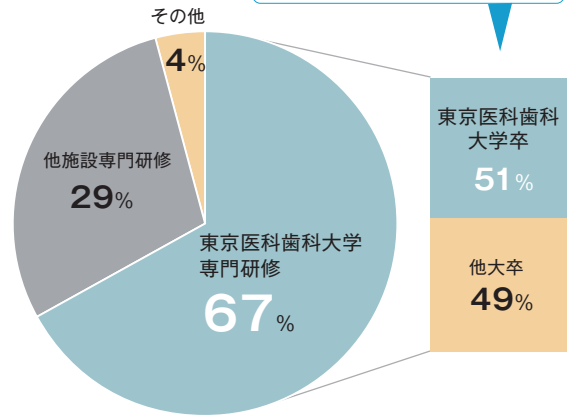
臨床研修後の進路

大学院・臨床/研究留学へとスムーズに進めます

多くの方が、医師臨床研修に引き続き東京医科歯科大学の専門研修プログラムに進まれます。

医師臨床研修の間から進路先の診療科で研修したり、スタッフと交流を持つことで、専門研修への移行もスムーズです。

臨床診療、基礎研究、臨床研究、厚労省の医系技官等、様々な分野で活躍する医師との出会いを通じて、ロールモデルを見つけて自分自身の将来について考えることができるのも、本学の医師臨床研修プログラムの醍醐味です。

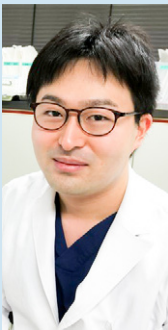


先輩医師にインタビュー



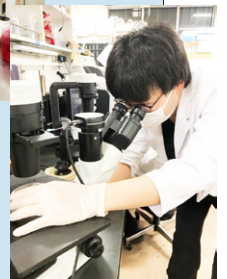
救急科 朝田 慎平先生 / 2015年度採用プログラムI

医科歯科での研修は、たすきがけ制度、様々な大学出身者の存在、都心の好立地などなど、非常に多くの魅力があります。さらに大学病院研修の最大の強みは、多くの上級医と関わり、その考え方を学べる点であると思っていますが、優秀な先輩先生方がとりわけ多く存在する当院は大学病院の中でも頭一つ抜けた存在ではないでしょうか。また研修先を選ぶにあたって、救急研修の質は多くの方が重視したいポイントであると思われます。当院の救命救急センターは外来診療から自科での手術、ECMO管理などを含めた集中治療を経て、最終的に退院まで一貫した診療を行っているという大きな特徴があり、私自身ここでの研修が充実したものであったということが、当初は進路として検討していなかった救急科に入局した理由の一つです。現在は診療リーダーとして臨床に携わっていますが、自分が感じる医療の面白さ、奥深さをこれから来る研修医の皆さんに伝えていけるよう頑張っていきたいと思っています。



消化器内科 稲田 賢人先生 / 2017年度採用プログラムII

私はプログラムIIを選択し、1年目に協力病院で実践力を磨き、2年目には大学病院に戻り改めて腰を据えて診療を行いました。学会発表も複数回経験し、2年間でバランス良く医師としての基礎力を養うことができたと感じます。そして、尊敬できる多くの教育的な先生方にご指導いただいたこの環境で引き続き研鑽を積みたいと考え、当院の消化器内科に入局し、内科専門研修を開始しました。主治医としての役割を求められる中で、当院の初期研修プログラムで主体的に学んだ経験が生きたと思います。初期研修と専門研修の両方を通じて研修センターの皆様が手厚くサポートしてくださり、特に新専門医制度に関わる情報を随時連絡いただけたのは非常に助かりました。おかげさまで内科専門医を無事に取得し、現在は大学院に入学し基礎研究を行っています。現代医学で未解決の課題に取り組むことの難しさや面白さ、奥深さを感じながら、充実した毎日を過ごしています。



身分	非常勤職員（臨床研修医）	宿舎	全82戸 借上宿舎（単身用）家賃：50,000円/月 ※宿舎利用に際して個別の規程あり 1年次当院で研修を行う者は全員入居可 2年次当院で研修を行う者については空きがあれば入居可
給与	平均320,000円/月（2022年度実績 手当等含む） 時間外手当：有 通勤手当：無 賞与：無 診療夜間看護等手当：15,000円/回		健康管理
社保	健康保険 厚生年金 雇用保険（労災適用あり）	その他	アルバイト：禁止 本学附属図書館利用：可 学内PCで文献検索：可能 学会への参加：可（参加費支給：無）
休暇	有給休暇：13日 その他：本学規定の無給休暇：有		

研修医選考試験要項

募集人員	94名
試験内容	書類選考後、筆記試験・面接試験を実施（対面）
応募資格	医師臨床研修マッチングに参加しマッチングIDを有する者
試験日程	2023年8月11日（金・祝）、15日（火）、18日（金）
出願方法	[Web出願] https://www.tmd.ac.jp/med/cpe/clinical-training/adoption.html

6月		7月		8月				9月			10月	
8日	16日	12日	20日	3日	11日	15日	18日	14日	28日	29日	12日	26日
マッチング参加登録開始	選考試験応募受付開始	選考試験応募締切(必着)	書類選考結果および 筆記試験・面接試験日程通知	マッチング参加登録締切	第一回研修医選考試験	第二回研修医選考試験	第三回研修医選考試験	マッチング希望順位登録開始	中間公表前締切	マッチング希望順位中間公表	マッチング希望順位登録締切	マッチング組合せ結果発表

東京医科歯科大学病院 総合教育研修センター

TEL : 03-5803-4581 FAX : 03-5803-0110 〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45



E-mail



HP



Facebook



Twitter



YouTube



東京医科歯科大学病院

TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY HOSPITAL

